



Taka Ishii

Gallery

6-5-24 3F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan  
tel +81 (0)3 6434 7010  
fax +81 (0)3 6434 7011  
web [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)  
email [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com)

## 石田尚志「絵と窓の間」

会期：2018年10月20日（土） - 11月17日（土）

会場：タカ・イシイギャラリー 東京

オープニング・レセプション：10月20日（土）18:00 - 20:00

この度、タカ・イシイギャラリーは、石田尚志個展「絵と窓の間」を開催致します。タカ・イシイギャラリーでの5年ぶり3回目の個展となる本展では、作家としての出発点であった16mmフィルム、そしてタブローとビデオによる最新作を通じ、複合的な視点によるイメージの探究をおこないます。

今回石田は、長期間にわたり一枚のタブローへの描画を続け、その行為がやがて室内空間全体へと波及していく様子を、圧倒的な密度のドローイング・アニメーションとして記録しました。そしてその編集作業から、無意識的な描画行為に隠されていた構造を新たに見出し、再構築し、絵と窓との間に多層的な光の溢れる空間を出現させます。映像の本質と絵画と時間の関係を問うため、これまでも編集作業を通し時間の不可逆性や反復を表現してきましたが、今回はさらに、フィルムとデジタルによるフリッカーやオーバーラップの光に挑みます。タブローに描かれる正方形は窓を模倣しつつ折重なり、拡張され、やがて光によって空間そのものを侵食していくのです。

作品テーマである「部屋」という環境と「窓」という要素は、石田のメインモチーフである「矩形」が実体化したものです。横浜美術館での個展に際し制作された「光の落ちる場所」（2015年）は、部屋の隅に浮いたカンヴァス上に、光と闇、そしてドローイングが矩形をも越えて展開する新たなビジョンを紡ぎだす試みとなりました。同年制作された「渦巻く光」ではガラス板と透過光により色と光の煌めく光景を作り出す一方、「正方形の窓」では、建築空間への描画行為により「正方形」というモチーフを押し出しつつ、実体化した矩形が宙に静止し続けるという、これまでの技法を拡張する表現に至っています。石田の仕事は常に、自由な描画行為の中で見出されていく予期せぬビジョンのドキュメンタリーであり、その特異な時の流れを観察する場として、一つの「部屋」が用意されているかのようです。

これらの作品に共通する密室論的空間表象について、石田はエドガー・アラン・ポーの『詩の原理』や『楕円形の肖像』、アンドレー・タルコフスキの映画「ストーカー」などから受けた強い影響について繰り返し言及します。また密室は、作家が10代後半に住んでいた沖縄の石油精製所（現石油備蓄基地）の記憶や、20代に働いていた東京の地下空間の記憶に繋がっています。かつて平安座島<sup>へんざじま</sup>の石油精製所でみた、配管を熱するためだけの炎に包まれる巨大な空間へと入っていった経験は、その後「部屋」シリーズを生み出しました。そして、この密室のイメージは作家にとってより一層大きなテーマになっているといえます。

本展での新作には、こうした絶え間なくどこまでも続く、作家の描き続ける衝動と技術的探究が結実しています。「人のいない場所」において生成している現象や、エネルギーのイメージは、量子の振る舞いを観察する際のパラドックスのように、石田のとめどない描画行為へ広がっていくでしょう。

石田尚志は1972年東京生まれの画家／映像作家。多摩美術大学准教授。線をコマずつ描いては撮影するドローイング・アニメーションという手法を用いて、空間のなかに増殖する線や移動する点といった運動性を介入させ、空間の質をさまざまに変容させるインスタレーションを発表している。近年の主な展覧会として、シヤルジャ・ビエンナーレ13「Tamawuj」（2017年）、あいちトリエンナーレ（2016年）、茨城県北芸術祭（2016年）、「石田尚志 渦まく光 Billowing Light: ISHIDA Takashi」横浜美術館／沖縄県立博物館・美術館（2015年）、堂島リバービエンナーレ「Little Water」（大阪、2013年）、「ダブル・ヴィジョンー日本現代美術展」モスクワ市近代美術館／ハイファ美術館群（2012年）、「キュレーターからのメッセージ2012 現代絵画のいま」兵庫県立美術館（神戸、2012年）、「MOT コレクション：サイレント・ナレーター それぞれのものがたり [特集展示] 石田尚志」東京都現代美術館（2011年）、「アーティスト・ファイル 2010ー現代の作家たち」国立新美術館（東京、2010年）、Mediations Biennale「Beyond Mediations」（ポズナン、2010年）、「躍動するイメージ。石田尚志とアブストラクト・アニメーションの源流」東京都写真美術館（2009年）など。2007年五島記念文化賞美術新人賞受賞。1999年「部屋／形態」が「イメージフォーラム・フェスティバル 1999」で特選を受賞。

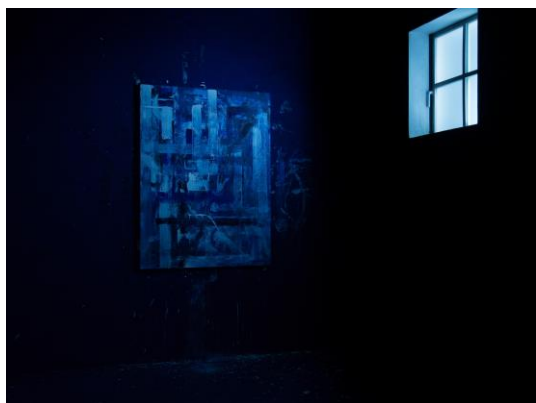
是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願いいたします。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

タカ・イシイギャラリー 展覧会担当：岡本夏佳 プレス担当：増山貴之

〒106-0032 東京都港区六本木 6-5-24 complex665 3F tel: +81 (0) 3 6434 7010 fax: +81 (0) 3 6434 7011

e-mail: [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com) website: [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)

営業時間：11:00-19:00 定休日：日・月・祝祭日



石田尚志「絵と窓の間」2018年 © Takashi Ishida